

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	佐賀県		市町村類型	II-1		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)											
						財政健全化等	×	歳入総額	25,455,094			23,966,013	実質収支比率			3.2	4.0									
市町村名	伊万里市		地方交付税種地	1-2		財源超過	×	歳入総額	24,999,127	23,418,578	経常収支比率	92.8	88.1													
						首都	×	歳入歳出差引	455,967	547,435	(※1)	(100.4)	(97.3)													
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	26,022	13,976	標準財政規模	13,532,476	13,431,867													
						中部	×	実質収支	429,945	533,459	財政力指数	0.58	0.56													
人口	22年国調(人)		57,161		産業構造(※5)	過疎	×	単年度収支	-103,514	239,263	公債費負担比率	13.8	16.0													
	17年国調(人)		58,190			山振	×	積立金	260,747	275,900	健全化判断比率															
	増減率(%)		-1.8			低開発	×	積立金取崩し額	-	-	実質赤字比率	-	-													
住民基本台帳人口	27,01,01(人)		56,934		区分	22年国調	17年国調	低開発	×	指数表選定	○	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-									
	うち日本人(人)		56,542															第1次	2,793	3,703	実質単年度収支	157,233	783,186	実質公債費比率	17.6	18.3
	26,01,01(人)		57,315																10.1	12.5	基準財政収入額	6,459,309	5,746,694	資金不足比率(※4)		
	うち日本人(人)		56,974															第2次	8,959	9,401	基準財政需要額	10,569,908	10,412,161	将来負担比率	127.5	149.7
	増減率(%)		-0.7																32.3	31.7	標準財政収入額等	8,308,328	7,395,182			
	うち日本人(%)		-0.8															第3次	15,979	16,550	経常経費充当一般財源等	12,774,582	12,611,210			
面積(km ²)		255.28		57.6	55.7	歳入一般財源等	16,034,407	15,966,495																		
人口密度(人/km ²)		224																								
世帯数(世帯)		19,614																								
職員の状況																										
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	21,145,462	20,685,322	うち公的資金	18,928,576	17,959,530	債務負担行為額(支出予定額)	3,923,223	3,137,474									
	市区町村長	1	9,460		一般職員	384	1,221,120	3,180	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	608,000	608,000	財政調整基金	1,237,695	976,948									
	副市区町村長	1	7,550		うち消防職員	-	-	-	積立金現在高	582,347	621,711	減債基金	582,347	621,711	その他特定目的基金	1,809,489	1,860,288									
	教育長	1	6,780		うち技能労務職員	35	122,290	3,494																		
	議会議長	1	4,860		教育公務員	6	24,056	4,009																		
	議会副議長	1	4,350		臨時職員	-	-	-																		
	議会議員	22	4,070		合計	390	1,245,176	3,193																		
					ラスバイレス指数				98.5																	
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧															
	項番	会計名	項番		会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)												
(1)	一般会計	(2)	伊万里市国民健康保険特別会計	(6)	伊万里市水道事業特別会計	(8)	伊万里市公共下水道事業特別会計	(11)	伊万里・有田地区衛生組合	(21)	伊万里土地開発公社															
		(3)	伊万里市介護保険特別会計	(7)	伊万里市工業用水道事業特別会計	(9)	伊万里市農業集落排水事業特別会計	(12)	伊万里・有田地区医療福祉組合(一般会計)	(22)	伊万里情報センター株式会社															
		(4)	伊万里市後期高齢者医療特別会計			(10)	伊万里市立花台地開発事業特別会計	(13)	伊万里・有田地区医療福祉組合(特別養護老人ホーム)																	
		(5)	伊万里市市営駐車場特別会計					(14)	伊万里有田地区医療福祉組合(病院事業会計)																	
								(15)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																	
								(16)	佐賀県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者特別会計)																	
								(17)	佐賀県西部広域環境組合																	
								(18)	有田磁石場組合																	
								(19)	佐賀県市町村総合事務組合(一般会計)																	
								(20)	佐賀県市町村総合事務組合(特別会計)																	

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	7,476,647	29.4	7,476,647	58.8	普通税	7,475,213	100.0	181,490	
地方譲与税	286,691	1.1	286,691	2.3	法定普通税	7,475,213	100.0	181,490	
利子割交付金	9,636	0.0	9,636	0.1	市町村民税	3,182,332	42.6	181,490	
配当割交付金	32,233	0.1	32,233	0.3	個人均等割	90,028	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	15,197	0.1	15,197	0.1	所得割	1,841,907	24.6	-	
地方消費税交付金	636,647	2.5	636,647	5.0	法人均等割	139,149	1.9	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	1,111,248	14.9	181,490	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,639,475	48.7	-	
自動車取得税交付金	27,103	0.1	27,103	0.2	うち純固定資産税	3,602,764	48.2	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	154,672	2.1	-	
地方特例交付金	21,318	0.1	21,318	0.2	市町村たばこ税	498,734	6.7	-	
地方交付税	5,125,431	20.1	4,183,178	32.9	釧産税	-	-	-	
普通交付税	4,183,178	16.4	4,183,178	32.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	942,252	3.7	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	1	0.0	-	-	目的税	1,434	0.0	-	
(一般財源計)	13,630,903	53.5	12,688,650	99.7	法定目的税	1,434	0.0	-	
交通安全対策特別交付金	11,481	0.0	11,481	0.1	入湯税	1,434	0.0	-	
分担金・負担金	384,403	1.5	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	334,182	1.3	15,716	0.1	都市計画税	-	-	-	
手数料	138,742	0.5	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	4,353,300	17.1	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	2,581,670	10.1	-	-	合計	7,476,647	100.0	181,490	
財産収入	56,715	0.2	9,306	0.1					
寄附金	83,711	0.3	-	-					
繰入金	297,891	1.2	-	-					
繰越金	547,435	2.2	-	-					
諸収入	579,691	2.3	175	0.0					
地方債	2,454,970	9.6	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,040,970	4.1	-	-					
歳入合計	25,455,094	100.0	12,725,328	100.0					

区分		平成26年度	平成25年度
徴収率(%)	現・計	98.8	94.7
	市町村民税	98.9	95.8
	純固定資産税	98.6	93.2

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,201,488	実質収支	-872,479
下水道	805,219	再差引収支	-1,006,085
工業用水道	501,794	加入世帯数(世帯)	8,223
上水道	478,371	被保険者数(人)	13,926
病院	172,869	被保険者	97
国民健康保険	503,993	1人当り	137
その他	1,739,242	保険税(料)収入額	336
		国庫支出金	137
		保険給付費	336

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	283,426	1.1	-	283,426	
総務費	2,801,823	11.2	119,979	2,424,745	
民生費	9,203,259	36.8	38,994	4,256,491	
衛生費	2,019,096	8.1	119,630	1,606,899	
労働費	1,508,304	0.4	-	870	
農林水産業費	1,500,632	6.0	753,784	541,460	
商工費	1,008,985	4.0	3,025	680,266	
土木費	2,187,593	8.8	1,111,134	1,122,975	
消防費	1,031,848	4.1	103,759	906,741	
教育費	2,520,586	10.1	1,026,045	1,543,413	
災害復旧費	74,057	0.3	-	4,732	
公債費	2,259,518	9.0	-	2,206,422	
諸支費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	24,999,127	100.0	3,276,350	15,578,440	

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	11,936,725	47.7	7,315,156	7,089,184	51.5
人件費	3,803,127	15.2	3,421,479	3,196,060	23.2
うち職員給	2,275,715	9.1	1,988,774	-	-
扶助費	5,874,080	23.5	1,687,255	1,686,702	12.3
公債費	2,259,518	9.0	2,206,422	2,206,422	16.0
元利償還金	2,259,312	9.0	2,206,216	2,206,216	16.0
内訳	1,994,830	8.0	1,941,734	1,941,734	14.1
うち元金	264,482	1.1	264,482	264,482	1.9
一時借入金利子	206	0.0	206	206	0.0
その他の経費	9,711,995	38.8	7,721,098	5,685,398	41.3
物件費	2,544,094	10.2	1,928,245	1,642,160	11.9
維持補修費	106,567	0.4	95,254	95,254	0.7
補助費等	2,482,785	9.9	2,105,278	1,430,610	10.4
うち一部事務組合負担金	1,286,748	5.1	1,286,348	1,064,579	7.7
繰出金	3,048,454	12.2	2,695,848	2,517,374	18.3
積立金	412,616	1.7	310,820	-	-
投資・出資金・貸付金	1,117,479	4.5	585,653	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,350,407	13.4	542,186	36,002	
うち人件費	47,927	0.2	36,002	-	-
普通建設事業費	3,276,350	13.1	537,454	-	-
うち補助	2,207,119	8.8	70,994	-	-
うち単独	981,086	3.9	436,195	-	-
災害復旧事業費	74,057	0.3	4,732	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	24,999,127	100.0	15,578,440	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

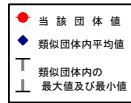
平成26年度 佐賀県伊万里市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	25,468	25,029	439	413	298	21,145	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

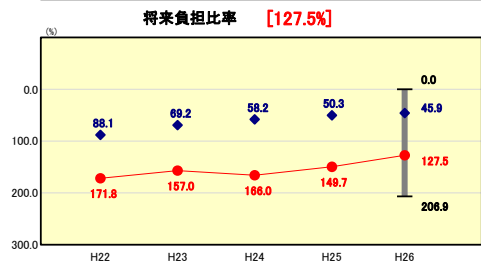
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	56,934人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	56,542人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	255.28km ²	実質公債費比率	17.6 %
歳入総額	25,455,094千円	将来負担比率	127.5 %
歳出総額	24,999,127千円	市町村類型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1
実質収支	429,945千円	(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1
標準財政規模	13,532,476千円		
地方債現在高	21,145,462千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

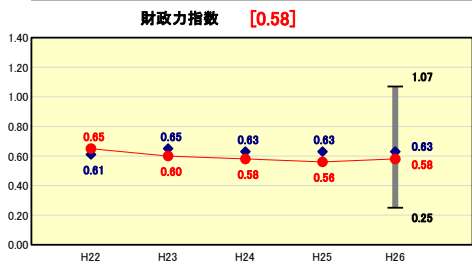
将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

前年度に引き続き類似団体の平均を大きく上回る127.5%となっている。主な要因としては、第4工業用水道事業や公共下水道事業の起債残高が多いことと、充当可能な基金の残高が少ないことがあげられる。
 今後も、企業会計において適正な受益者負担の確保や経営の合理化、効率化を図り、一般会計からの繰出が標準財政規模(臨時財政対策債を含む)の15%以下となるよう、各会計の経営健全化に努める。

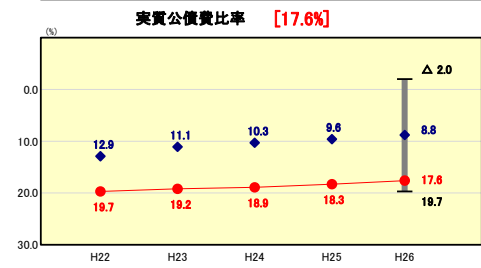
財政力



財政力指数の分析欄

前年度と比較し0.02ポイント増となっているが、類似団体平均を下回っており、人件費の削減や緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税収の徴収率向上などによる歳入確保に努める。

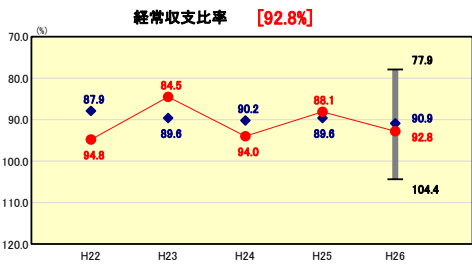
公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

類似団体の平均を上回っている要因としては、第4工業用水道事業や公共下水道事業の起債償還に係る繰出金が多いためである。今後、各企業会計の経営の合理化、効率化による経営健全化により繰出金の抑制を図る必要がある。
 また、新規発行については可能な限り抑制しているため近年低下傾向であるが、引続き第3次伊万里市財政基金安定化計画に基づき、単年度の地方債借入額について、標準財政規模(臨時財政対策債を含む)の10%以下となるよう、地方債借入れの抑制に努め、公債費負担の適正化を図る。

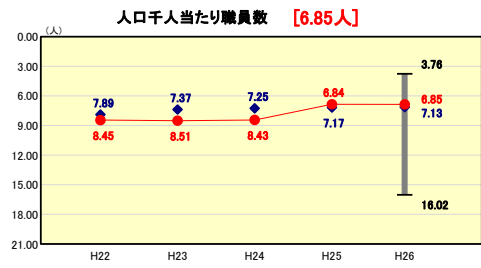
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

扶助費及び他会計(工業用水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)への繰出金の増加により、92.8%と類似団体平均を上回っている。
 扶助費については、生活保護の資格審査等の適正化による抑制を図るとともに、医療・介護給付費などの適正化を図り、他会計への繰出金の抑制に努める。また、事務事業の見直しを継続し、経常経費の削減に努める。

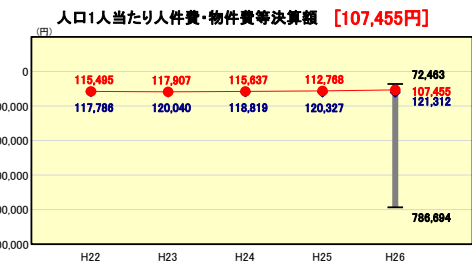
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

前年度並みではあるが、市域が広く学校や出張所等の出先機関が多い現況を踏まえ、適切な定員管理を継続していく必要がある。

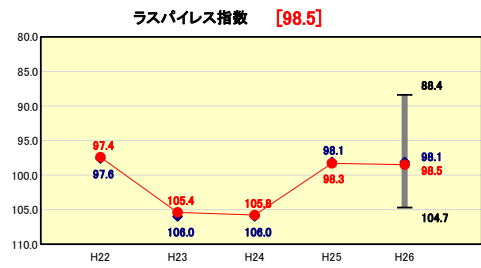
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

消防事務の広域化に伴い前年度と比較し人件費が減少した。しかし、市の面積が広大で、類似団体と比較し、支所出張所が多く人件費に関する現況は厳しい。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託を進め、コストの低減を図っていく方針である。

給与水準(国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

前年度同様、類似団体平均より高い数値となっている。今後も市の財政状況を勘案しながら、人件費の抑制に努める必要がある。

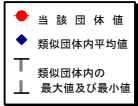
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

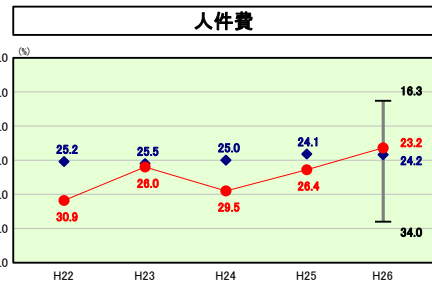
佐賀県伊万里市

経常収支比率の分析

人口	56,934人	(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	56,542人	(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	255.28km ²		実質公債費比率	17.6%
歳入総額	25,455,094千円		将来負担比率	127.5%
歳出総額	24,999,127千円		市町村類型	H22 II-1 H23 II-1 H24 II-1
実質収支	429,945千円		(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1
標準財政規模	13,532,476千円			

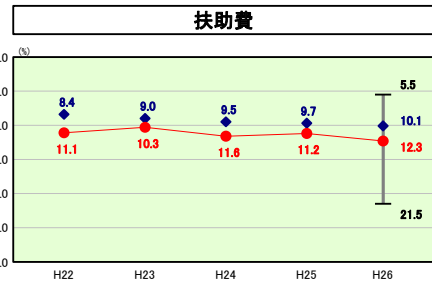


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



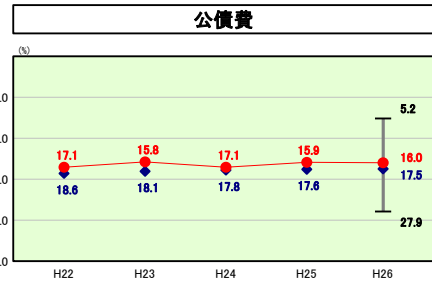
人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、平成26年度において23.2%と類似団体平均と比べて低い水準にあり、前年度より3.2%改善した。今後も引き続き人件費の抑制に努める。



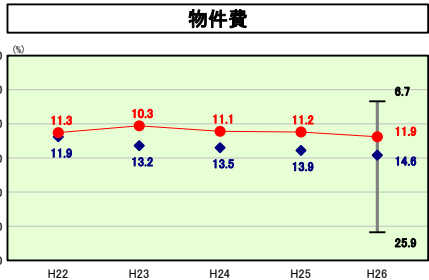
扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にある要因として、生活保護費の額が急激に膨らんでいることや障害者自立支援給付費の増加などが挙げられる。資格審査等の適正化、頻回受診等のは正指導等を進めていくことで、上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



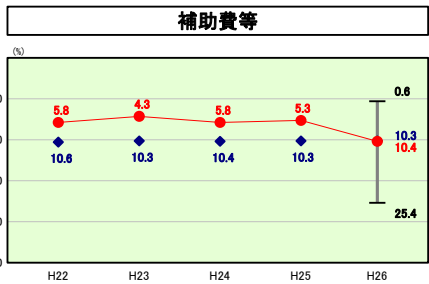
公債費の分析欄

一般会計においては単年度の地方債借入額について、標準財政規模(臨時財政対策債を含む)の10%以下となるよう地方債借入れの抑制に努めており、類似団体平均より1.5%下回っている。今後は小中一貫校整備事業や、体育施設耐震改修事業、防災行政無線施設整備事業などの大型事業があるため、引続き公債費負担適正化計画等に従って極力起債を抑えた財政運営に努める。



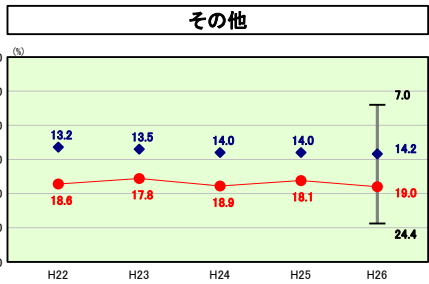
物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均を若干下回っている。今後は学校などの公共施設の統廃合を含めた適正配置を行うことで維持管理経費等を削減していく必要がある。



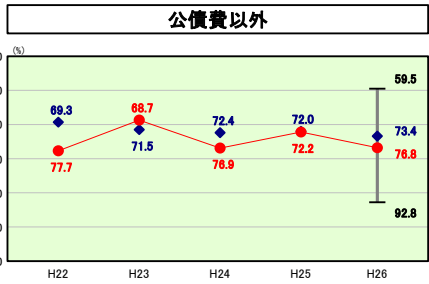
補助費等の分析欄

消防事務広域化のため設立された伊万里・有田消防組合への負担金により、前年度と比較し増加した。今後は補助率の見直しや金額の削減等について検討を行っていく。



その他の分析欄

その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。主なものは工業用水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計への繰出しとなっている。今後は、使用料や保険料(保険税)などの見直し等により、各会計の経営健全化を行うことで繰出金の抑制に努める。



公債費以外の分析欄

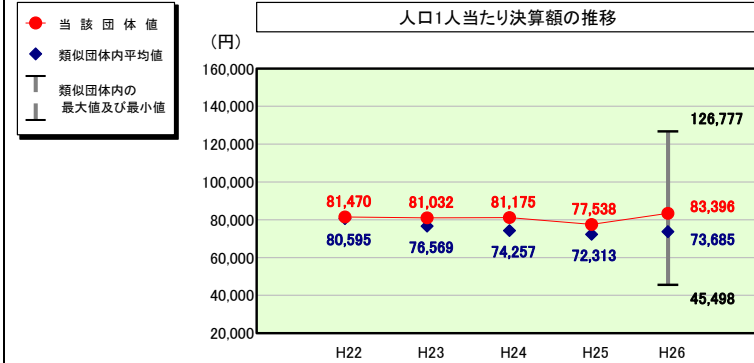
公債費以外に係る経常収支比率が類似団体平均を3.4ポイント上回っている。その原因は、扶助費、繰出金によるものである。各分析にも掲げているとおり負担軽減へ向けテナ一層抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

佐賀県伊万里市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



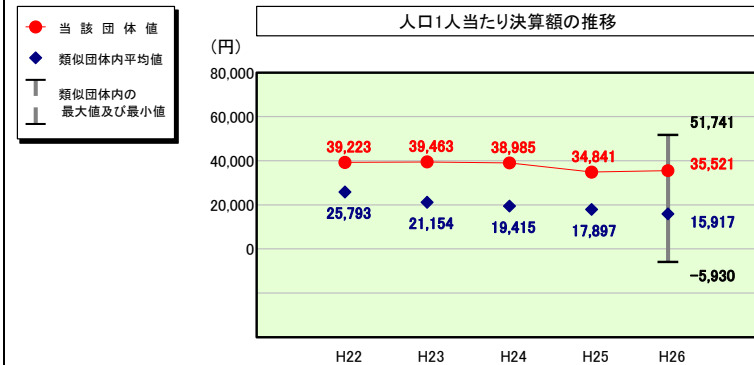
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,803,127	66,799	65,114	2.6
賃金 (物件費)	309,582	5,438	4,538	19.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	771,330	13,548	5,513	145.7
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	35,275	620	953	▲ 34.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	164,694	2,893	2,887	0.2
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	47,927	842	1,642	▲ 48.7
▲退職金	▲ 383,848	▲ 6,742	▲ 6,965	▲ 3.2
合計	4,748,087	83,396	73,685	13.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.85	7.13	▲ 0.28
ラスパイレス指数	98.5	98.1	0.4

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

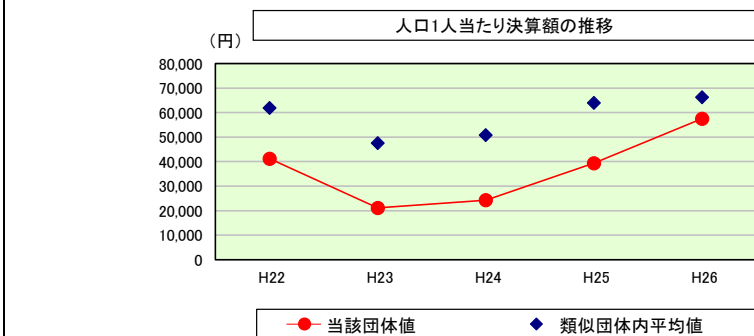


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,259,312	39,683	43,359	▲ 8.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,194,404	20,979	11,806	77.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	203,103	3,567	1,910	86.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	82,964	1,457	1,129	29.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	73	1	5	▲ 80.0
▲特定財源の額	▲ 53,096	▲ 933	▲ 5,126	▲ 81.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,664,434	▲ 29,234	▲ 37,205	▲ 21.4
合計	2,022,326	35,521	15,917	123.2

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

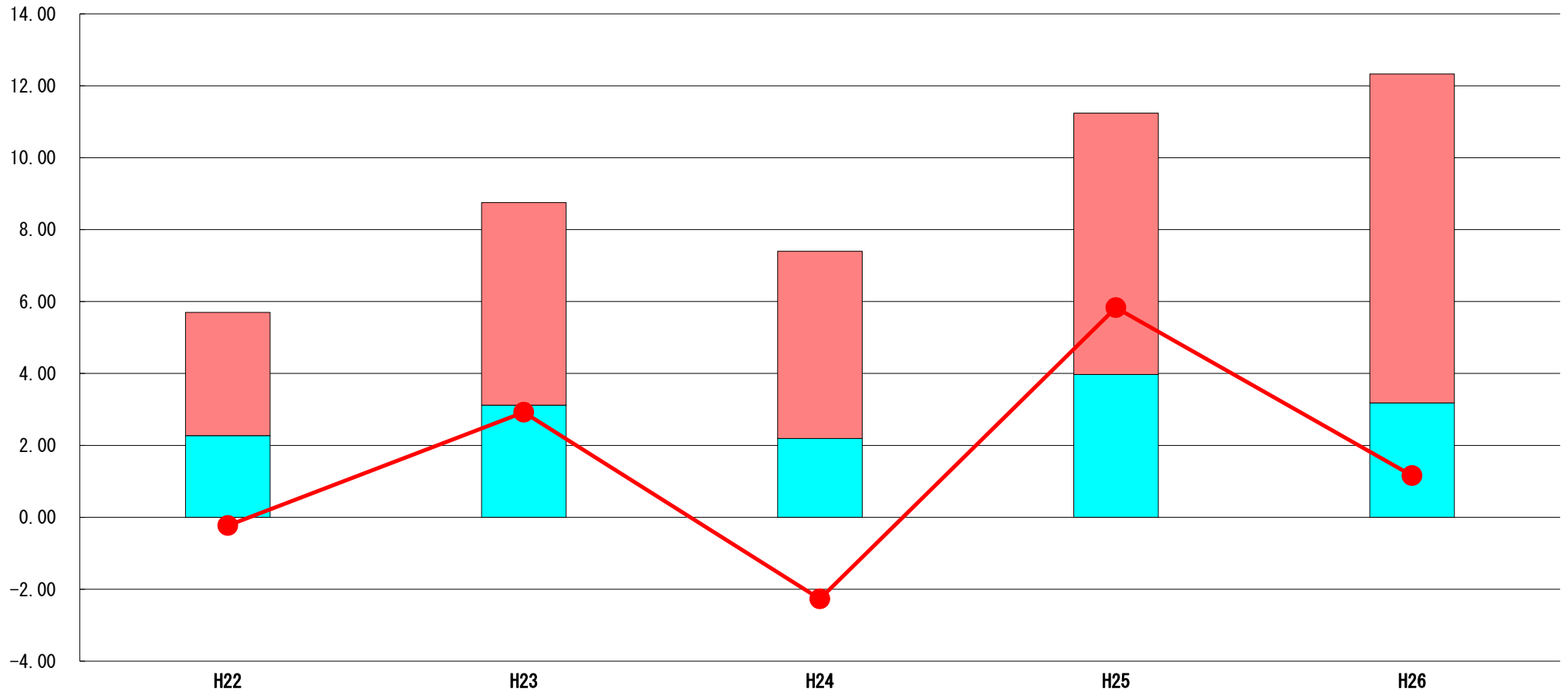
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	2,381,770	41,240	▲ 16.0	61,882	6.7	▲ 22.7
うち単独分	884,540	15,316	▲ 26.3	32,175	0.0	▲ 26.3
H23	1,212,991	21,118	▲ 48.8	47,569	▲ 23.1	▲ 25.7
うち単独分	708,969	12,343	▲ 19.4	26,255	▲ 18.4	▲ 1.0
H24	1,396,122	24,329	15.2	50,880	7.0	8.2
うち単独分	810,972	14,132	14.5	26,879	2.4	12.1
H25	2,256,668	39,373	61.8	63,956	25.7	36.1
うち単独分	1,161,311	20,262	43.4	29,239	8.8	34.6
H26	3,276,350	57,546	46.2	66,255	3.6	42.6
うち単独分	981,086	17,232	▲ 15.0	31,822	8.8	▲ 23.8
過去5年間平均	2,104,780	36,721	11.7	58,108	4.0	7.7
うち単独分	909,376	15,857	▲ 0.6	29,274	0.3	▲ 0.9

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成26年度

佐賀県伊万里市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		3.43	5.63	5.21	7.27	9.15
 実質収支額		2.27	3.12	2.19	3.97	3.18
 実質単年度収支		▲ 0.23	2.92	▲ 2.27	5.83	1.16

分析欄

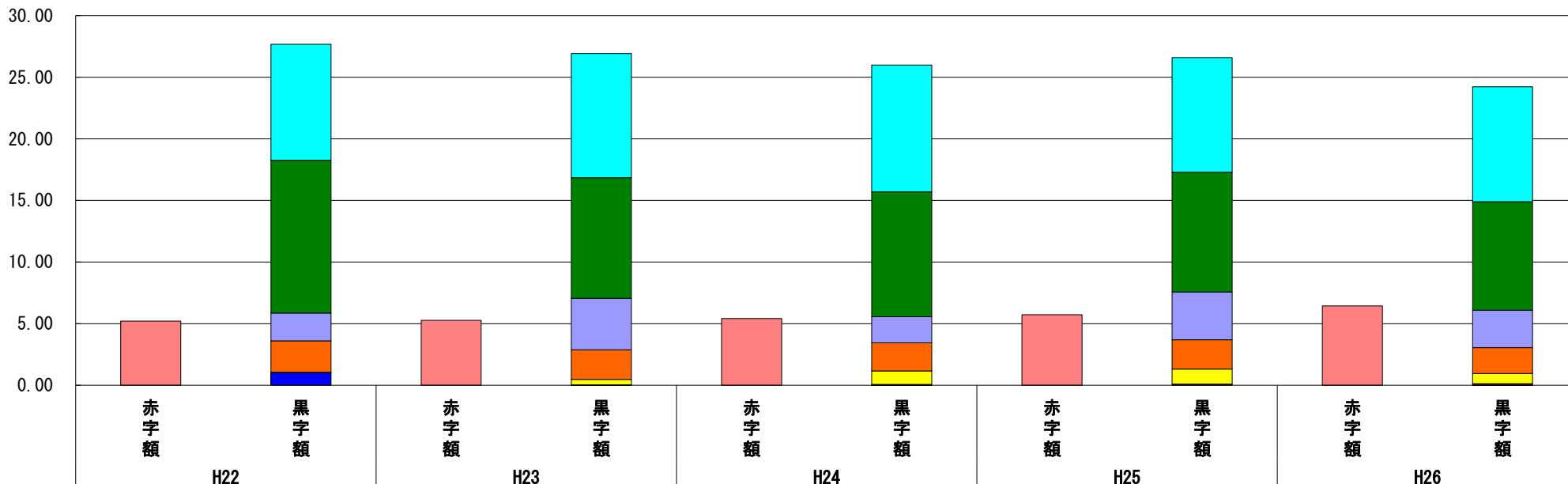
平成26年度は、法人市民税等の増収はあったが、普通交付税等の大幅減による実質収支額の減少に伴い、実質単年度収支も減少した。しかし財政調整基金と減債基金を取り崩さなかったことから、実質単年度収支は、黒字を維持している。
 今後も普通交付税を含めた一般財源の確保が厳しい見込みであり、財政調整基金等の各種基金の取崩しによる財政運営も見込まれるため、税收の確保に努めるとともに一層の歳出削減を行うことで基金残高の確保に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

佐賀県伊万里市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
伊万里市国民健康保険特別会計		▲ 5.21	▲ 5.27	▲ 5.42	▲ 5.72	▲ 6.44
伊万里市工業用水道事業特別会計		9.41	10.08	10.29	9.30	9.33
伊万里市水道事業特別会計		12.40	9.79	10.13	9.72	8.79
一般会計		2.25	4.17	2.12	3.88	3.05
伊万里市立花台地開発事業特別会計		2.56	2.41	2.29	2.38	2.09
伊万里市介護保険特別会計		0.02	0.44	1.09	1.22	0.83
伊万里市市営駐車場特別会計		0.01	0.02	0.06	0.09	0.12
伊万里市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.01	0.00	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		1.01	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

連結実質赤字比率については、国民健康保険特別会計以外において黒字であり赤字比率はない。国民健康保険特別会計については、収納率の向上等により歳入が増加しているが、医療単価の増に伴う歳出の増加が著しく、累積赤字が増え続けている。
 今後は、保険料の適正な賦課と収納率の向上に努め、レセプト点検の強化等により医療費の適正化を図り累積赤字の解消に努める。

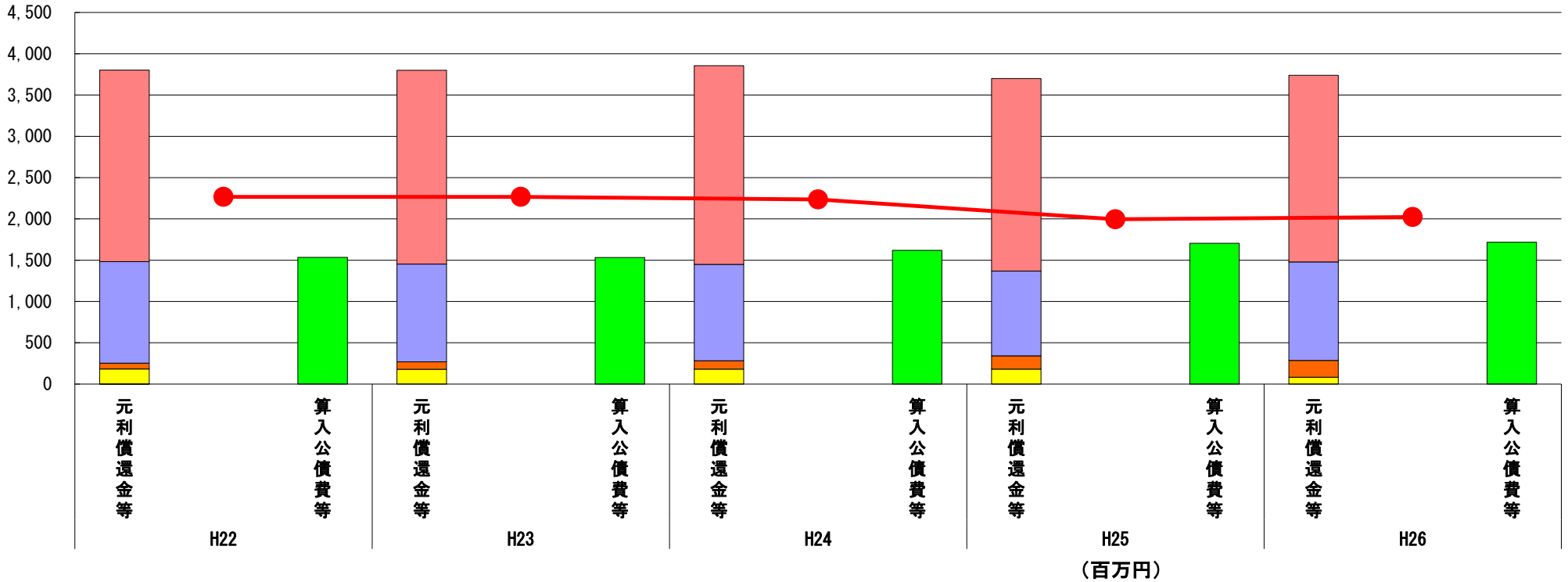
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

佐賀県伊万里市

(百万円)



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)	元利償還金		2,319	2,347	2,406	2,332	2,259
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,229	1,183	1,166	1,026	1,194
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		70	90	102	161	203
	債務負担行為に基づく支出額		182	180	181	181	83
	一時借入金の利子		1	0	0	0	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,535	1,533	1,620	1,704	1,717
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,266	2,267	2,235	1,996	2,022

分析欄

実質公債費比率は平成26年度で17.6%となっており、年々減少傾向にある。その要因として、元利償還金が減少し、また財政運営に有利な地方債の発行により普通交付税に措置される算入公債費等が増加している。

今後は、小中一貫校整備や、体育施設耐震改修、防災行政無線施設整備などの大型事業があることなどから、引き続き公債費負担適正化計画に従って極力起債を抑えた財政運営を行っていくことが重要である。

起債の新規発行については可能な限り抑制（標準財政規模規模の10%以下）し、公債費の平準化を図りながら残高の圧縮に努める。

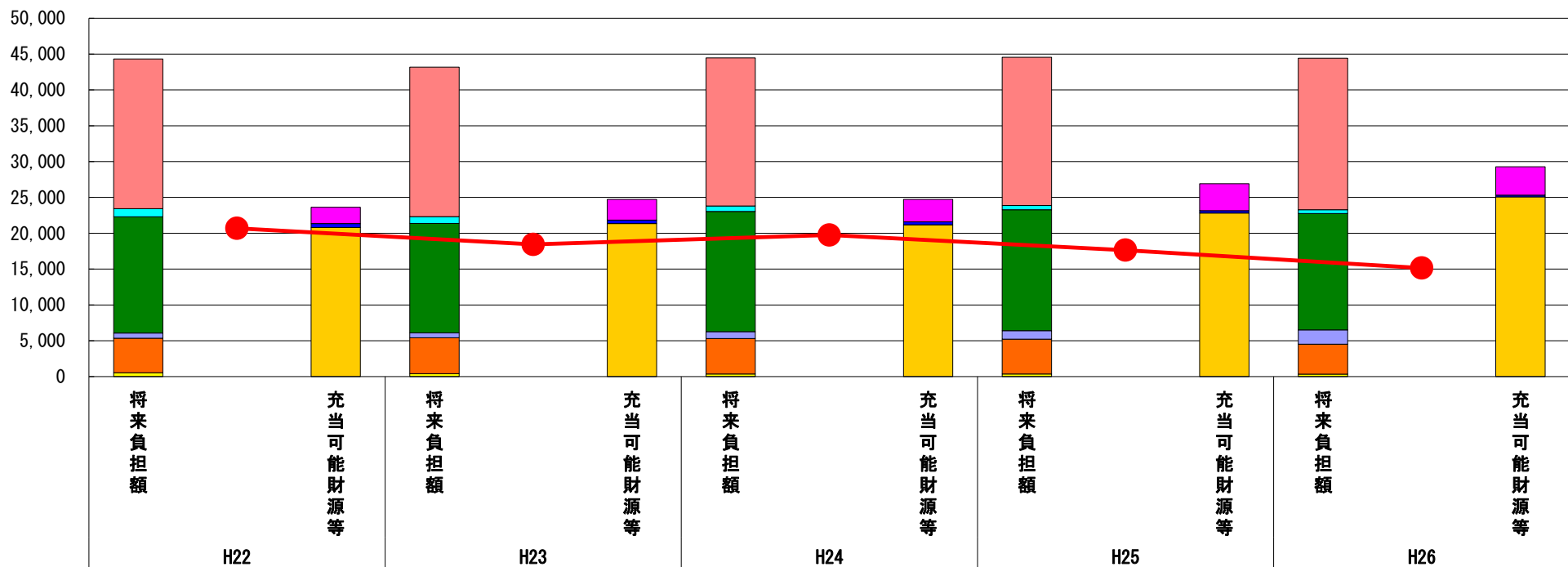
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

佐賀県伊万里市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		20,895	20,853	20,668	20,685	21,145
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,127	950	773	596	517
	公営企業債等繰入見込額		16,236	15,281	16,769	16,881	16,248
	組合等負担等見込額		707	660	969	1,189	1,985
	退職手当見込額		4,827	5,026	4,931	4,858	4,185
	設立法人等の負債額等負担見込額		530	400	370	352	341
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,272	2,885	3,139	3,776	3,955
	充当可能特定歳入		554	488	425	326	244
	基準財政需要額算入見込額		20,806	21,357	21,168	22,821	25,080
(A) - (B)	将来負担比率の分子		20,688	18,440	19,747	17,639	15,143

分析欄

将来負担比率については、近年、減少傾向にあり、平成26年度は127.5%(前年度比▲22.2%)となっている。これは、充当可能基金の増加や基準財政需要額算入見込額の増加によるものである。

今後は、小中一貫校整備事業や、防災行政無線施設整備事業等の大型事業があることなどから、引続き公債費負担適正化計画に従って極力起債を抑えた財政運営を行っていくことが重要であるため、起債の新規発行については可能な限り抑制(標準財政規模の10%以下)し、公債費の平準化を図りながら残高の圧縮を行う。また、企業会計における適正な受益者負担の確保や経営の合理化、効率化を図り、一般会計からの繰入が標準財政規模(臨時財政対策債を含む)の15%以下となるよう、各会計の経営健全化に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。